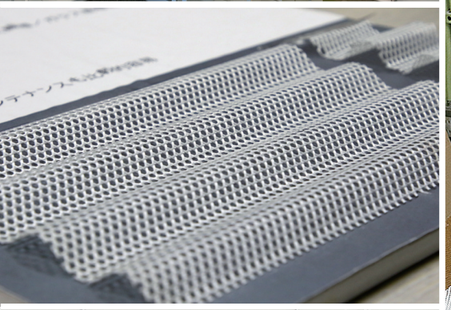
# サカセ・アドテック 株式会社

▶対 象 類 型　デザイン、複合・新機能材料
▶事 業 類 型　一般型
▶主たる目的　市場開拓

## 三軸織物複合材料の成形技術の向上による成形品事業展開









2
3
4
1

1／30㎡のG-TRIX®。今回導入した「カッティング機構付巻取機」「ガラス質液用含浸装置」「レール走行方式解反車」を経て完成する。 2／建築家・隈研吾氏が設計を手がけた東洋大学赤羽台キャンパスの内装に、G-TRIX®が採用された。 3／不燃性の新素材G-TRIX®は、建築基準法もクリア。自由に加工できるため、デザイン性が求められる建築物への需要が見込める。 4／福井の伝統工芸品「越前漆器」とコラボした商品。三軸織物の上から漆を塗り、和の装いを楽しめる。

## 三軸織物の技術を生かし、建築内装分野への更なる進出を目指す。

サカセ・アドテックは、繊維素材を縦、横、斜めの三方向で編み上げる「三軸織物」を生かした工業製品を造り出している。三軸織物の特性は軽くて、あらゆる方向からも強い強度を持てること。そのため、宇宙分野では人工衛星や探査機搭載用のアンテナに、スポーツ用品分野では超軽量の陸上スパイクの開発に応用されている。

同社は、ガラス繊維で作られたメッシュ状の三軸織物に、さらにガラス成分を含浸させた新素材「G-TRIX®」を2014年に開発。不燃性という特性を生かし、近年力を入れているのが、建築内装分野である。従来使われている建築材の半分以下という軽さと、あらゆる模様を表現できるデザイン性が好評を呼び、2017年にオープンした東京の商業施設「GINZA SIX」や上海のデパートの建築内装に使われた。しかし、今まではG-TRIX®の製作・加工は一度に小面積しかできず、大面積の受注は断らざるを得なかった。そこで今回導入したのが、約30㎡のG-TRIX®の製作を可能にする機械3種。さらに、あらゆる模様を効率的にプレス加工する機械も導入した。これにより今後大規模な天井内装構造物部材や複雑な模様の需要にも対応でき、建築内装分野において更なる展開が見込めるようになった。

**注目すべき成果**

### ホット・コールドプレス機の導入で加工が安価で効率よく。

三軸織物を型に沿わせ、一気に冷却する「ホット＆クール成形法」を取り入れた機械を導入したことで、成形時間が短縮し、成形精度も向上した。効率がよくなり、大幅なコスト削減にもつながった。

**注目すべき成果**

### 大面積のG-TRIX®の製作・加工が可能になり、生産性が向上。

建築内装分野への進出に伴い、大面積のG-TRIX®の要望が増加。今まで小面積を繋ぎ合わせて作っていたが、一度に製作できるように。天井内装構造物部材や大面積の内装材の製作が容易になった。

**今後の展望**

### 建築内装分野で更なる受注を増やし、販路の拡大を図る。

本事業を通じて、大面積のG-TRIX®の製作と効率のよい加工が可能になった。不燃性で軽いという特性があるため、建築内装分野を中心とした大型製作物の受注がさらに増加すると考えられる。

**ものづくり専門員から一言**

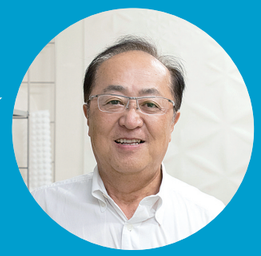
### 唯一無二の技術で更なる躍進を。

同社はこれまでも宇宙分野やスポーツ分野など、他社には真似できない製品の開発を行ってきた。今回の事業で導入した、大面積のG-TRIX®の製作や効率のよい加工技術で、さらに高い技術力の向上に大きく期待している。

**こんな会社です！**

### “小さな世界一”を絶やさぬように。

三軸織の技術を産業化している会社は、世界中探しても当社のみだと思います。創業当時から開発し、製品化している宇宙分野をはじめ、世界のトップアスリートにも愛用されているスポーツ用品の分野は、今回の新しい加工機械の導入によりさらに進化すると思います。また、近年、建築内装分野でも更なる需要が見られます。特に不燃基準が厳しいヨーロッパ諸国から、公共建築物における照明回りなどの室内構造部材としての用途が期待されています。当社特有の技術を生かして、今後もさまざまな分野に進出できればと思っています。



代表取締役社長
酒井 慶治さん



創業当初から取り組んでいる宇宙分野での商品開発。人工衛星や探査機搭載用のアンテナ向けに実績を持つ。



本社・工場


**サカセ・アドテック 株式会社**

代表者／代表取締役社長 酒井 慶治
設立／昭和63年（1988年）2月
資本金／5,000万円
従業員数／16人
事業内容／製造業　繊維工業
〒910-0363 坂井市丸岡町下安田14-10
☎0776-66-2115　FAX.0776-66-0173
E-mail info@sakase.co.jp